



G 安全施策の徹底

当社グループは、最重要マテリアリティに「安全操業・安定供給」を掲げています。

「安全施策の徹底」を、企業価値向上の重要な基盤として、ガバナンス項目に意図的に組み入れており、サステナビリティ中計においてKPIを設定して安全管理体制の強化を推進しています。

安全操業・安定供給

当社グループでは、「コスモエネルギーグループ企業行動指針」の第1章に「安全で事故のない企業グループであり続けます」と示し、サステナビリティ中計においても「安全施策の徹底」として「労働災害の発生防止」と「重大事故の発生防止」を目標に掲げて、安全施策に積極的に取り組んでいます。2020年度は当社グループにおいて重大労災や重大事故の発生はありませんでした。一方で、重大までには至らない労災は前年度より増加していることから、事故原因の究明を通して再発防止策に取り

組んでいます。

当社グループの中でも、製油所および工場部門においては、重大事故・重大労災発生件数0件を達成しました。製油所を保有するコスモ石油では、2021年度も継続して、休業労災度数率[※]・計画外停止率・入出荷停止日数について管理指標を設定し安全管理を実行するとともに、職場や作業環境の整備・OMS(操業マネジメントシステム)の運用を通じ、安全操業・安定供給に取り組んでいきます。

[※]「度数率」とは、100万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数で、災害発生の頻度を表します。

グループ全体の労災件数	2018年度		2019年度		2020年度	
	休業	不休業	休業	不休業	休業	不休業
業務上	37	83	13	85	33	95
通勤途上	9	22	11	13	12	19
合計	46	105	24	98	45	114

(補足) 協力会社で発生した労災を含む。

品質確保～品質保証体制の強化

コスモ石油ならびにコスモ石油マーケティングでは、「顧客が要望する品質を満たす安全な商品を経済的かつ安定的に供給する」ことを目的に、「CS・品質保証委員会」を設置し、品質保証方針の決定と活動の推進を行っています。両社の「CS・品質保証委員会」は、コスモエネルギーホールディングスのサステナビリティ戦略会議と連携し、当社グループとして、品質保証体制を

確立しています。

コスモ石油では、重大製品(品質)事故の発生防止をKPIとして掲げ、品質管理活動に取り組みました。2020年度の活動実績は、製油所や油槽所での重大な品質トラブル0件、および不適合品出荷0件を継続中です。

「スーパー認定事業者」に認定(千葉製油所)

2021年4月に千葉製油所が「スーパー認定事業者(特定認定事業者)」に認定されました。本制度はIoT、ビッグデータの活用、高度なリスクアセスメント、第三者による保安力の評価の活用

等の高度な自主保安を実現している事業所を経済産業省が特別に認定しているもので、当社グループとして千葉製油所が初めての認定事業所となります。

認定取得のメリット

項目	従来の認定制度	スーパー認定制度
連続運転期間	期間固定(2年、4年)	8年以下で自由に設定(リスクに応じ事業者自らが期間を設定できる)
完成検査/保安検査方法	経済産業大臣が規定する方法	検査方法の自由度拡大(事業者が設定)
機器の更新(同仕様)	事前許可	事前許可が不要な範囲が拡大

左記により、従来よりも柔軟で効率的な事業運営が可能となり、製油所の競争力強化にも繋がります。製油能力が一番高く首都圏からも近い千葉製油所で取得できたことにも非常に大きな意味があります。

認定取得に向けた取り組み

コスモ石油の製油所では、操業基盤の柱であるOMS(操業マネジメントシステム)において、世界標準以上の保安レベルを達成すべく安全管理活動の実施と継続的な改善を推進し、保安力の向上に努めてきました。その取り組みの一環として、千葉製油所では右記の取り組みを行いました。今後も、グループ企業行動指針に掲げている「安全で事故のない企業グループであり続ける」ことを実践し不具合を低減していくとともに、安全操業およびエネルギーの安定供給を通じてお客様の生活を豊かにしていけるよう貢献していきます。



千葉製油所



ドローン技術の活用

1 自律した保安管理活動

安全操業や労災撲滅に向けたさまざまな保安管理活動を自律的に実践しています。また、体系化されたリスクアセスメントの教育を実施するなど、リスク感知力を備える取り組みも行っています。

2 専門人材の育成強化

精製工程における火災などに対するリスク評価、各種設備の保全、プラントの安全管理に関する評価など、精製設備の安全性を評価できる専門人材の育成を強化しています。

3 重大事故への対応

重大事故を想定し、リスクアセスメントやシミュレータを活用した防災訓練を行っています。また、想定が発生頻度や事故を防護する設備の失敗確率を評価する手法を導入し、より明確な技術的根拠に基づいた解析を進めています。

4 先進技術の実装

今後の自主保安高度化・自動化に向けて、プラント内の巡視点検や高所点検をドローンにて行う監視システムの実証を行っています。また、設備信頼性の向上を目的とした配管オンラインモニタリングシステムを活用し、配管の肉厚データを採取するなど先進技術の導入を積極的に行っています。

グループ会社の安全施策の徹底

コスモエコパワー

風力発電事業を手掛けるコスモエコパワーでは、風力発電所を安全に効率よく稼働させるために、定期的な点検、故障やトラブル時の対応、24時間の遠隔監視を実施しています。これまでの実績や経験などをもとに、故障箇所や故障時期を推定し、長期停止前に部品などを交換する予防保全に力を入れています。

丸善石油化学

丸善石油化学では「安全ナンバーワン企業を目指す」を経営方針の一つとしており、「安全は、経営の第一原則であり、企業

の使命である」と考えています。また、独自に掲げる行動目標基準(CC10)の中でも、いかなる事故、災害の危険をも予知し、その防止に努めることで、「無事故・無災害を継続する」ことを誓っています。

安全に係るすべての活動を「安全ナンバーワン活動」とし、千葉工場、四日市工場を始め、全社で保安防災、労働安全、物流安全における安全管理の一体的な推進を図っています。

2020年以降、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、その感染防止対策を講じながら安全管理を徹底し、安全・安定操業を継続していきます。